

南魚沼森林組合

荻原真人

Masato Ogiwara



1986年、宮城県生まれ
南魚沼市在住(37歳)
林業経験4年7ヶ月

林業を5年経験して「カッコいい！」という思いがいつそう強まりました！

— 愛知県からの「ターナー」なんですね。結婚するまで愛知県で働いていて、5年前の結婚をきっかけに妻の地元の南魚沼市に來たんです。愛のために南魚沼市に來ました(笑)。

— 林業の仕事に就いた理由は？

前職はカーディーラーの営業職で支店長も務めました。やりがいはありましたが、新潟では前職と全く違う仕事がしたいと思っていました。で、ハローワークでの待ち時間に置いてあった林業の冊子を見たら「カッコいい！」と思って、すぐに南魚沼森林組合に問い合わせをしました。

— 林業はカッコいいですよ。

はい！ 大学まで陸上部で体力にはまあまあ自信があったので大丈夫だろう

と。あと遠距離恋愛中に南魚沼市を何度か訪れていて、自然いっぱい良いところだと思っていたので、山を整備する仕事は自然を守り、人の役に立つ仕事だと思いました。



林業は危険な仕事だからこそ、チームワークが重要だ。「この仕事に就いて良かったことのひとつは、かけがえのない仲間との出会いです」



— 実際に働いてみてどうでしたか。

想像していた以上に大変でした(笑)。でも肉体的には大変ですが、危険な仕事を一人ではなく、仲間と協力して行うというのが自分にとって魅力的です。また、同じ現場はないので毎回、ワクワク感と緊張感を持って仕事ができるのも良いです。

— 5年経った今でもそうですか？

やり始めた頃よりも「カッコいい！」という思いがいつそう強まりました。「楽しい！」「カッコいい！」とともに役に立っていると実感できるのもうれしい。普段は山奥での仕事が多いですが今、南魚沼市ではふるさと里山再生整備事

業を行っていて、この仕事で民家近くの

木を伐ることがあります。地域の方から直接、感謝の言葉をいただくと「役に立っているな」と感じられます。また、現在、地球温暖化による脱炭素が話題です。森林を適切に整備・保全することは森林によるCO2吸収量の確保につながります。林業が地球温暖化対策を担っていることも誇らしいですね。

— これまでで一番大変だったことは？

夏の熱中症と蜂が大変です(苦笑)。ここの夏は1日4リットルくらい水分を採っていました。

— 今後の目標を教えてください。

技術的にレベルアップしていきたいです。



高さ24~25メートルの杉を伐倒。切り株を見て「うまく倒せてよかった」と荻原さんも満足そう



南魚沼市大倉地内の利用間伐現場。伐倒した木を重機でつかんだ状態のまま、計測を行い、チェーンソーで玉切りを行う荻原さん

PRIVATE TIME

荻原さんのプライベートコーナー

職場の仲間と
キャンプしたり



友達とツーリングなど
アウトドアを満喫